

目次

1. 工作機械統計・産業動向

- ◆米国工作機械受注統計(6月)..... 1
- ◆米国工作機械受注統計(地域別)..... 2
- ◆台湾工作機械輸出入統計(2010年1～4月)..... 2
- ◆米国工作機械貿易統計(6月)..... 3
- ◆韓国工作機械主要統計(2010年6月)..... 3

2. 主要国・地域経済動向

- ◆米国：製造業部門、12ヵ月連続で成長(7月)..... 6
- ◆米国：製造業設備稼働率は若干減少(6月)..... 7
- ◆米国：2010年第2四半期の工作物保持装置の出荷高、前期比7.7%増加..... 7
- ◆欧州：EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移(7月)..... 7
- ◆独機械業界、生産高見通し上方修正..... 8
- ◆英国：6月の工作機械受注、好調..... 8
- ◆イタリア工作機械生産が増加見通し..... 8

3. 工作機械関連企業動向

- ◆スイスのジョージ・フィッシャー、黒字転換..... 8
- ◆ブラジル：Romi社の2010年第2四半期の新規受注が前年比大幅増加..... 9
- ◆英国：600 Group、2010年度の決算を発表..... 9
- ◆スイス：Mikron社、2010年上期の決算を発表..... 9

4. その他

- ◆ユーザー関連トピックス..... 10

5. 日工会外需状況(7月)..... 13

1. 工作機械統計・産業動向

◆米国工作機械受注統計(6月)

AMT(米国製造技術工業協会)及びAMTDA(米国工作機械販売協会)発表の受注統計(USMTC)によると、2010年6月の米国切削型工作機械受注は、2億2,828万ドルで前月比36.6%増、前年同月比95.9%増となった。

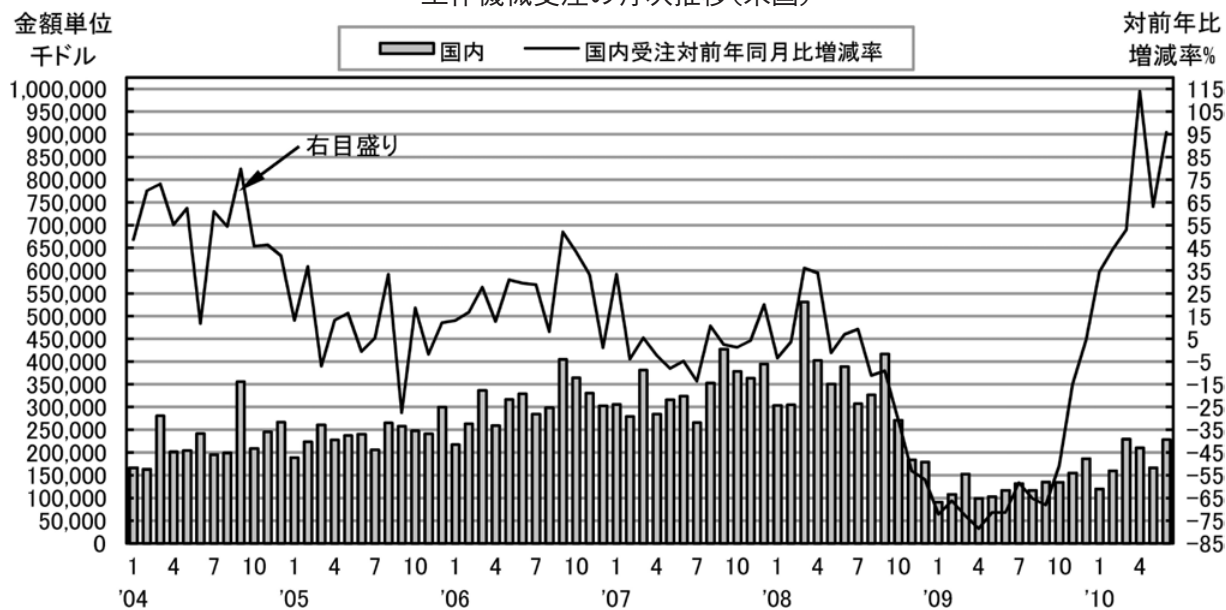
AMTのWoods専務理事は「米国最大の製造技術展であるIMTSを控えた月は受注は減少するのが、通例であった。しかしながら、2010年上半期の海外からの直接投資の増加と航空宇宙および建設機械受注が2倍になったことは、例年の減少傾向よりも、受注増が加速する結果となった。」と述べた。

(USMTCレポート 8月9日付)

米国工作機械(切削型)受注統計
(金額単位：千ドル)

年 月	受 注	
	台 数	金 額
2009年1月	694	91,390
2月	780	107,769
3月	963	153,364
4月	855	99,162
5月	814	103,608
6月	853	117,771
7月	907	131,996
8月	806	117,583
9月	920	136,133
10月	993	134,932
11月	957	156,807
12月	1,226	187,293
2009年累計	10,768	1,537,808
2010年1月	774	120,098
2月	922	160,547
3月	1,285	229,067
4月	1,251	210,384
5月	1,155	167,076
6月	1,403	228,276
2010年累計	6,790	1,115,448

工作機械受注の月次推移(米国)



◆米国工作機械受注統計(地域別)

(単位：百万ドル)

地域別		2010年6月(P)	2010年5月	前月比(%)	前年同月	前年同月比(%)	2010年累計(P)	2009年累計(R)	前年同期比(%)
全米	切削型	228.28	167.08	36.6	116.55	95.9	1,115.45	669.96	66.5
	成形型	13.20	10.78	22.5	24.57	-46.3	92.15	103.46	-10.9
	計	241.47	177.85	35.8	141.12	71.1	1207.60	773.41	56.1
北東部	切削型	49.85	30.52	63.3	23.46	112.5	195.70	141.07	38.7
	成形型	1.60	3.25	-50.8	3.50	-54.3	14.90	17.09	-12.8
	計	51.45	33.78	52.3	26.96	90.8	210.61	158.16	33.2
南部	切削型	34.07	29.02	17.4	21.49	58.5	173.60	91.46	89.8
	成形型	0.43	0.10	342.0	3.77	-88.6	15.37	16.51	-6.9
	計	34.50	29.12	18.5	25.26	36.5	188.98	107.97	75.0
中西部	切削型	67.96	40.46	68.0	34.19	98.8	312.62	187.53	66.7
	成形型	4.85	2.55	90.2	5.63	-13.9	22.49	33.87	-33.6
	計	72.80	43.00	69.3	39.82	82.8	335.11	221.40	51.4
中部	切削型	51.34	48.95	4.9	22.56	127.6	295.20	156.61	90.4
	成形型	5.81	4.41	31.8	6.46	-10.2	31.10	21.11	47.3
	計	57.15	53.35	7.1	29.02	96.9	326.30	177.72	85.3
西部	切削型	25.06	18.13	38.2	14.85	68.7	135.32	93.29	45.1
	成形型	0.52	0.47	9.8	5.20	-90.1	8.29	14.87	-44.3
	計	25.58	18.60	37.5	20.05	27.6	143.61	108.17	32.8

P：暫定値 R：改定値

四捨五入により合計値及び%は一致しない場合がある。

出所：USMTC

◆台湾工作機械輸出入統計(2010年1～4月)

台湾工作機械機種別輸出入統計(2010年1～4月)

(単位：千USドル)

機種名	輸出			輸入		
	2010.1-4	2009.1-4	前年比(%)	2010.1-4	2009.1-4	前年比(%)
放電加工機	36,540	19,025	92.1	65,212	30,683	112.5
マシニングセンタ	223,928	149,376	49.9	11,718	11,478	2.1
旋盤	148,748	153,060	-2.8	24,351	10,377	134.7
ボール盤・フライス盤・中ぐり盤	88,507	63,215	40.0	11,578	5,876	97.0
研削盤	43,044	24,880	73.0	14,079	21,177	-33.5
歯切り盤・歯車機械	45,749	34,933	31.0	13,260	6,878	92.8
切削型合計	586,516	444,489	32.0	140,198	86,469	62.1

出所：海関進出口統計月報

台湾工作機械国別輸出入統計(2010年1～4月)

(単位：千USドル)

輸 出					輸 入				
順 位	国 別	2010.1-4	2009.1-4	前年比(%)	順 位	国 別	2010.1-4	2009.1-4	前年比(%)
1	中国・香港	346,366	182,455	89.8	1	日 本	102,086	42,521	140.1
2	米 国	34,131	57,230	-40.4	2	ド イ ツ	14,371	21,237	-32.3
3	タ イ	33,547	24,685	35.9	3	米 国	9,879	6,639	48.8
4	イ ン ド	33,445	17,345	92.8	4	中国・香港	9,134	7,834	16.6
5	ブラジル	31,929	20,502	55.7	5	ス イ ス	7,058	6,021	17.2
6	韓 国	27,352	6,001	355.8	6	韓 国	6,629	3,463	91.4
7	マレーシア	26,313	14,488	81.6	7	イ タ リ ア	2,404	8,818	-72.7
	そ の 他	225,685	263,190	-14.3		そ の 他	14,439	12,177	18.6
	合 計	758,768	585,896	29.5		合 計	166,000	108,710	52.7

出所：海関進出口統計月報

◆米国工作機械貿易統計(6月)

- 2010年6月の米国工作機械輸出額（切削型）は、前月比10.1%増の128.6百万ドルであった。
- 2010年1～6月の輸出累計は、前年同期比14.1%増で、637.8百万ドルであった。
- 2010年6月の米国工作機械輸入額（切削型）は、前月比19.2%増で160.5百万ドルであった。
- 2010年1～6月の輸入累計は、前年同期比19.4%減で839.4百万ドルであった。

		2010年 6 月	2010年 5 月	6月/5月 増 減 率 (%)	2010年 1-6月	2009年 1-6月	前年比 増減率 (%)
切 削 型	輸 出	128.6	116.8	10.1	637.8	558.8	14.1
	輸 入	160.5	134.6	19.2	839.4	1,041.0	(19.4)
	収 支	(31.9)	(17.8)	78.9	(201.7)	(482.2)	(58.2)
成 形 型	輸 出	55.0	60.2	(8.6)	315.2	300.1	5.0
	輸 入	46.1	44.6	3.3	245.3	308.3	(20.4)
	収 支	8.9	15.6	(42.9)	69.8	(8.2)	(950.1)
合 計	輸 出	183.7	177.1	3.7	952.9	858.9	10.9
	輸 入	206.6	179.2	15.3	1,084.7	1,349.4	(19.6)
	収 支	(22.9)	(2.2)	949.4	(131.8)	(490.5)	(73.1)
N C 機	輸 出	82.4	74.1	11.1	415.2	362.2	14.6
	輸 入	126.3	105.2	20.1	682.2	887.2	(23.1)
	収 支	(43.9)	(31.0)	41.5	(267.0)	(525.0)	(49.1)

(注) ()はマイナスを表す。四捨五入により、合計値と一致しない場合がある。

出所：AMT－The Association for Manufacturing Technology

(AMT Report 2010年8月11日付)

◆韓国工作機械主要統計(2010年6月)

韓国工作機械受注(2010年6月)

○業種別受注(2010.1～6)

(単位：百万ウォン)

需 要 業 種	2010.5	2010.6	前月比(%)	2009.1～6	2010.1～6	前年同期比(%)
鉄鋼・非鉄金属	13,305	11,489	-13.6	19,275	69,325	259.7
金属製品	22,138	17,913	-19.1	36,077	106,199	194.4
一般機械	42,353	28,361	-33.0	79,093	154,717	95.6
電気機械	57,845	33,544	-42.0	32,198	218,006	577.1
自動車	97,839	54,666	-44.1	97,185	371,204	282.0
造船・輸送用機械	4,103	843	-79.5	104,386	21,537	-79.4
精密機械	6,499	9,725	49.6	32,596	37,294	14.4
その他製造業	12,380	7,216	-41.7	16,585	48,608	193.1
官公需・学校	1,121	642	-42.7	3,404	5,846	71.7
商社・代理店	5,233	6,928	32.4	8,173	33,343	308.0
その他	1,298	2,388	84.0	560	6,098	988.9
内 需 合 計	264,114	173,715	-34.2	429,532	1,072,177	149.6
外 需	116,489	126,007	8.2	384,980	696,348	80.9
受 注 累 計	380,603	299,722	-21.3	814,512	1,768,525	117.1

出所：韓国工作機械工業会

注：1) %は前月から変更となりました。

2) 前年同月比%変更となりました。

○機種別受注(2010.1～6)

(単位：百万ウォン)

機 種	2010.5	2010.6	前月比(%)	2009.1～6	2010.1～6	前年同期比(%)
NC旋盤	124,694	114,574	-8.1	315,109	625,684	98.6
NCフライス盤	736	1,045	42.0	10,771	6,230	-42.2
マシニングセンタ	154,515	105,676	-31.6	225,205	593,885	163.7
NC放電加工機	1,620	640	-60.5	2,417	7,313	202.6
N C 小 合 計	334,003	230,649	-30.9	656,681	1,447,702	120.5
旋盤	2,830	2,597	-8.2	8,353	17,341	107.6
フライス盤	4,429	3,370	-23.9	17,247	22,058	27.9
ボール盤	1,340	915	-31.7	3,492	6,604	89.1
研削盤	8,196	12,795	56.1	10,968	46,498	323.9
専用機	—	—	—	381	—	-100.0
非 N C 小 合 計	17,966	46,201	157.2	67,126	127,786	90.4
金 属 切 削 型	351,969	276,850	-21.3	723,807	1,575,488	117.7
金 属 成 形 型	28,634	22,872	-20.1	90,705	193,037	112.8
総 合 計	380,603	299,722	-21.3	814,512	1,768,525	117.1

出所：韓国工作機械工業会

注：1) %は前月から変更となりました。

2) 前年同月比%変更となりました。

韓国工作機械生産 & 出荷統計(2010年6月)

○生産(2010.1～6)

(単位：百万ウォン)

機 種 別	2010.5	2010.6	前月比(%)	2009.1～6	2010.1～6	前年同期比(%)
NC旋盤	80,738	93,376	15.7	356,675	487,651	36.7
NCフライス盤	4,248	4,640	9.2	35,369	21,468	-39.3
マシニングセンタ	77,195	71,386	-7.5	223,330	375,767	68.3
NC放電加工機	720	472	-34.4	2,882	4,249	47.4
NC中ぐり盤	7,205	11,040	53.2	20,314	45,630	124.6
N C 小 合 計	192,804	188,289	-2.3	741,115	1,022,779	38.0
旋盤	2,980	2,397	-19.6	10,951	12,339	12.7
フライス盤	3,877	3,167	-18.3	9,484	19,632	107.0
ボール盤	365	210	-42.5	857	2,193	155.9
研削盤	2,470	2,530	2.4	4,508	12,693	181.6
専用機	755	590.0	-21.9	2,546	30,284	1,089.5
非 N C 小 合 計	12,444	29,074	133.6	35,325	103,167	192.1
金 属 切 削 型	205,248	217,363	5.9	776,440	1,125,946	45.0
金 属 成 形 型	25,279	28,508	12.8	101,390	146,981	45.0
総 合 計	230,527	245,871	6.7	877,830	1,272,927	45.0

出所：韓国工作機械工業会

注：1) 前月から%は変更となりました。

2) 前年同月比%変更となりました。

○出荷(2010.1～6)

(単位：百万ウォン)

機 種 別	2010.5	2010.6	前月比(%)	2009.1～6	2010.1～6	前年同期比(%)
NC旋盤	100,440	106,108	5.6	353,556	521,954	47.6
NCフライス盤	4,248	4,640	9.2	35,427	21,322	-39.8
マシニングセンタ	77,994	60,045	-23.0	230,957	337,526	46.1
NC放電加工機	520	932	79.2	1,002	4,184	317.6
NC中ぐり盤	6,644	11,441	72.2	20,814	42,601	104.7
N C 小 合 計	212,135	191,822	-9.6	744,669	1,021,817	37.2
旋盤	3,910	2,845	-27.2	12,629	15,731	24.6
フライス盤	4,675	5,470	17.0	9,793	25,273	158.1
ボール盤	308	290	-5.8	769	2,415	214.0
研削盤	2,883	2,661	-7.7	5,698	12,218	114.4
専用機	—	766	—	2,802	29,528	953.8
非 N C 小 合 計	13,854	31,755	129.2	33,831	111,175	228.6
金 属 切 削 型	225,989	223,577	-1.1	778,500	1,132,992	45.5
金 属 成 形 型	28,316	26,546	-6.3	126,070	149,924	18.9
総 合 計	254,305	250,123	-1.6	904,570	1,282,916	41.8

出所：韓国工作機械工業会

注：1) 前月から%は変更となりました。

2) 前年同期から%は変更となりました。

韓国工作機械輸出統計(2010年6月)

○機種別輸出(2010.1～6)

(単位: 千USドル)

機 種 別	2010.5	2010.6	前月比(%)	2009.1～6	2010.1～6	前年同期比(%)
NC旋盤	26,711	29,577	10.7	165,180	141,833	-14.1
マシニングセンタ	21,737	33,730	55.2	108,721	139,732	28.5
NCフライス盤	299	441	47.5	7,505	5,368	-28.5
NC研削盤	718	1,027	43.0	4,522	3,972	-12.2
NC中ぐり盤	2,237	4,414	97.3	18,576	14,352	-22.7
NCボール盤	197	613	211.2	13,265	3,148	-76.3
NC放電加工機	756	1,930	155.3	1,393	7,900	467.1
NCその他	11,988	10,902	-9.1	7,910	—	—
N C 小 合 計	64,643	82,634	27.8	327,072	369,105	12.9
旋盤	1,269	1,474	16.2	13,061	9,137	-30.0
フライス盤	6,044	1,082	-82.1	18,193	16,687	-8.3
ボール盤	554	423	-23.6	3,884	2,295	-40.9
研削盤	1,671	4,169	149.5	18,515	13,850	-25.2
中ぐり盤	4,309	5,496	27.5	11,560	22,130	91.4
その他	9,068	11,830	30.5	39,345	46,686	18.7
小 合 計	22,915	24,474	6.8	104,558	110,785	6.0
金 属 切 削 型 合 計	87,558	107,108	22.3	431,630	479,890	11.2

出所: 韓国通関局

注: 1) 前月から%は変更。

2) 前年同期から%は変更。

○韓国工作機械輸出仕向け国別(2010.1～6)

(単位: 千USドル)

機 種 別	日 本	中 国	アジア	ドイツ	イタリア	欧 州	アメリカ
NC旋盤	154	44,581	67,149	10,430	2,079	32,133	29,660
マシニングセンタ	534	89,838	110,999	1,934	907	8,919	14,440
NCフライス盤	15	4,580	4,927	2	0	2	300
NC研削盤	5	1,780	2,580	0	0	390	104
NC中ぐり盤	0	13,262	13,706	0	306	306	0
NCボール盤	10	1,033	2,929	0	0	58	53
NC放電加工機	0	4,561	6,454	137	266	1,094	49
NCその他	2,692	10,202	50,919	48	0	1,147	106
N C 小 合 計	3,410	169,837	259,663	12,551	3,558	44,049	44,712
旋盤	50	5,253	7,892	15	0	118	606
フライス盤	228	13,152	15,077	364	0	1,142	63
ボール盤	72	663	1,747	10	0	188	82
研削盤	2,195	8,127	12,490	0	0	545	516
中ぐり盤	244	15,924	17,504	393	0	1,517	1,425
その他	1,547	21,673	35,974	17	599	2,705	4,353
小 合 計	4,336	64,792	90,684	799	599	6,215	7,045
金 属 切 削 型 合 計	7,746	234,629	350,347	13,350	4,157	50,264	51,757

出所: 韓国通関局

注: 1) 前月から%は変更。

2) 前年同期から%は変更。

韓国工作機械輸入統計(2010年6月)

○機種別輸入(2010.1～6)

(単位: 千USドル)

機 種 別	2010.5	2010.6	前月比(%)	2009.1～6	2010.1～6	前年同期比(%)
NC旋盤	7,945	8,802	10.8	58,884	72,567	23.2
マシニングセンタ	13,300	20,087	51.0	67,564	98,368	45.6
NCフライス盤	5,825	1,988	-65.9	18,038	14,142	-21.6
NC研削盤	8,172	4,447	-45.6	47,810	40,252	-15.8
NC中ぐり盤	20	19	-5.0	9,949	495	-95.0
NCボール盤	34	593	1,644.1	2,624	1,932	-26.4
NC放電加工機	3,565	4,175	17.1	5,167	21,347	313.1
NCその他	13,657	19,831	45.2	26,768	79,561	197.2
N C 小 合 計	52,518	59,942	14.1	236,804	328,664	38.8
旋盤	3,188	6,049	89.7	16,351	22,479	37.5
フライス盤	729	424	-41.8	4,472	4,029	-9.9
ボール盤	865	386	-55.4	1,850	7,893	326.6
研削盤	8,821	9,947	12.8	31,426	45,074	43.4
中ぐり盤	1,032	1,610	56.0	6,870	9,119	32.7
その他	9,117	13,594	49.1	70,878	69,031	-2.6
非 N C 小 合 計	23,752	32,010	34.8	131,847	157,625	19.6
金 属 切 削 形 合 計	76,270	91,952	20.6	368,651	486,289	31.9

Source: Korea Customs Service

Note: 1) Percent change from previous month

2) Percent change from the same period of the previous year

○輸入国別(2010.1～6)

(単位：千USドル)

機 種 別	台 湾	ア ジ ア	ド イ ツ	イ タ リ ア	欧 州	ア メ リ カ
NC旋盤	493	37,835	31,748	0	32,526	2,207
マシニングセンタ	19,465	68,074	14,469	0	24,048	6,247
NCミリング	0	5,428	1,105	0	8,710	4
NC研削盤	368	32,269	3,750	6	6,779	832
NC中ぐり盤	0	246	243	0	243	6
NCボール盤	42	1,500	0	428	432	0
NC放電加工機	1,943	16,188	1,700	0	5,123	36
NCその他	881	42,632	16,477	2,646	34,417	2,461
N C 小 合 計	23,192	204,172	69,492	3,080	112,278	11,793
旋盤	4,614	12,893	369	7,119	9,182	404
フライス盤	170	2,258	955	539	1,660	111
ボール盤	139	3,267	63	13	4,384	241
研削盤	1,401	35,839	2,336	521	5,862	3,169
中ぐり盤	13	7,240	409	358	835	1,031
その他	4,490	37,472	14,128	358	26,448	4,730
非 N C 小 合 計	10,827	98,969	18,260	8,908	48,371	9,686
金 属 切 削 型 合 計	34,019	303,141	87,752	11,988	160,649	21,479

出所：韓国通関局

注：1) 前月から%は変更。

2) 前年同期から%は変更。

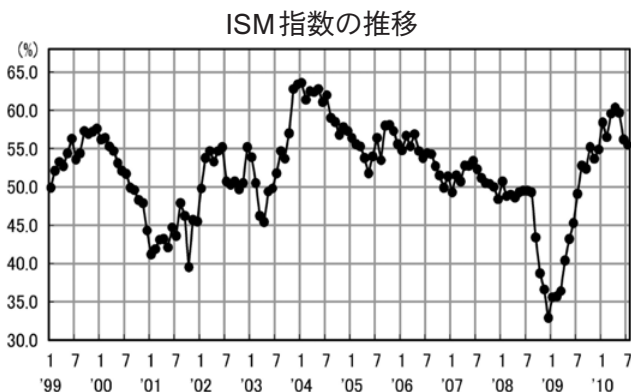
2. 主要国・地域経済動向

◆米国：製造業部門、12ヵ月連続で成長(7月)

米サプライ・マネジメント協会（ISM）の購買管理指数（PMI：製造業350社以上のアンケート調査に基づく月次景況指数）によると、2010年7月のISM指数（PMI）は55.5%と景況感の分かれ目である50%を上回り、製造業部門の活動も12ヵ月連続で成長した。一方、経済全体の動向はPMIが上昇・下降の分岐点41.2%を15ヵ月連続で上回り、経済成長を遂げた。

7月の調査結果について、ISMは次のようにコメントしている。「製造業部門は7月も成長を続けたが、その成長率は6月に比べて鈍化した。雇用、サプライヤー納期、在庫が改善し、新規受注と生産の減速による影響を緩和した」

なお、7月の製造業の景況感について、対象18業



種中、次の10業種が「企業活動を拡大した」と回答している。プラスチック・ゴム製品、雑貨、紙製品、電気機器・家電製品・部品、輸送用機械、鉄鋼・非鉄金属、繊維製品、コンピューター・電子製品、金属製品、化学製品。

ISMが発表した7月の主要個別指数の前月比変動傾向は以下の通り。

項 目	2010年 7月指数	2010年 6月指数	備 考
I S M 指 数 (PMI)	55.5	56.2	6月比0.7ポイント低下。製造業は12ヵ月連続成長。7月のPMI(55.5%)は年率換算実質GDP成長率4.5%に相当。
生 産	57.0	61.4	6月比4.4ポイント低下。拡大の基準である50.4%を14ヵ月連続で上回った。8業種が成長を報告した。
新 規 受 注	53.5	58.5	6月比5ポイント低下。13ヵ月連続で増加した。8業種が成長を報告した。
受 注 残 高 (季節調整なし)	54.5	57.0	前月比2.5ポイント低下。6業種が増加を報告した。
サプライヤー納期	58.3	57.3	6月比1ポイント上昇。11業種が長期化を報告した。
在 庫	50.2	45.8	前月比4.4ポイント上昇した。3ヵ月連続の縮小後、初めて増加。6業種が在庫増を報告した。
雇 用	58.6	57.8	6月比0.8ポイント上昇。10業種が増加を報告した。
仕 入 れ 価 格	57.5	57.0	前月比0.5ポイント上昇。10業種が上昇を報告した。
輸 出 受 注	56.5	56.0	前月比0.5ポイント上昇。13ヵ月連続の増加。7業種が増加を報告。
原 材 料 輸 入	52.5	56.5	前月比4ポイント低下。11ヵ月連続の増加。5業種が増加を報告した。

(ISM Manufacturing Report on Business 2010年8月2日付)

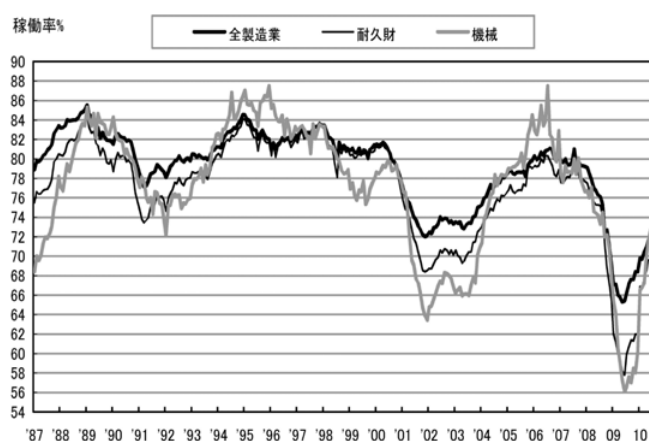
◆米国：製造業設備稼働率は若干減少(6月)

2010年6月の設備稼働率(速報値)は、全製造業で71.4%、耐久財製造業で69.6%、機械製造業で72.7%となった。

前月比で見ると、機械製造業では1.1ポイント増加したものの、耐久財製造業では横ばいで推移、全製造業では0.3ポイント減少している。

一方、前年同月比で見ると全製造業では6ポイント増加している。

米国製造業の設備稼働率月次推移



(FRB Statistical Release G.17(419)/7月15日付)

◆米国：2010年第2四半期の工作物保持装置の出荷高、前期比7.7%増加

米国製造技術工業協会(AMT)の先進的工作物保持技術(AWT)グループによると、2010年第2四半期の工作物保持装置の総出荷高は前年同期比43.6%増の5,380万ドルとなった。

AWTによる統計の対象企業37社の米国内出荷高は4,570万ドルに達し、輸出高は810万ドルであった。

工作物保持装置の2010年第2四半期米国内出荷高は前期比7.4%増、輸出高は9.4%増であった。

米国内出荷では、中西部地域が最大の出荷先で、前期比9.2%増加し、全体の40.5%を占めた。中央部への出荷高は4.8%増加し、北東部を追い抜いて

第2位の出荷先となり、全体の18.4%を占めた。

北東部への出荷高は2.7%増で、全体の市場シェアは第3位の16.4%となった。南部のシェアは13.8%で、出荷高は前期比7.9%増であった。

西部向け出荷高は6.5%増加したが、市場シェアは11.0%で全体の最小であった。

また、今年第2四半期における雇用水準は、前期比で1.0%上昇したが、前年同期比では0.1%しか増加しなかった。

AWTグループは、チャック、顎器、コレット装置、万力、材料固定具など工作物を固定・保持する工作物保持装置を生産するAMT加盟企業から構成される。

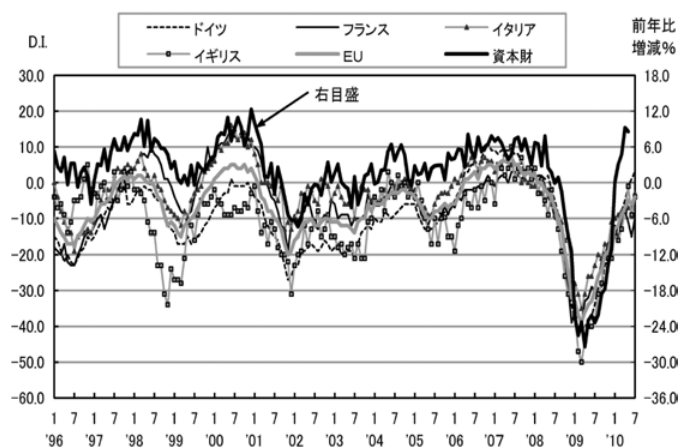
(AMTプレスリリース 2010年7月23日付)

◆欧州：EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移(7月)

欧州委員会の発表した2010年7月のEU主要国製造業景気動向指数(D.I.)によると、EU全体では2ポイント上昇している。国別では、フランスとイギリスが5ポイント、イタリアが4ポイント、ドイツが2ポイント夫々上昇している。

一方、ユーロ圏の資本財生産については、2010年5月は前年同月比で8.6%増となった。なお、2010年6及び7月の数字は未発表である。

EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移



(欧州委員会 Monthly Survey of Manufacturing Industry 及び Industrial Production 調査)

◆独機械業界、生産高見通し上方修正

ドイツ機械工業連盟（VDMA）のマンフレート・ヴィッテンシュタイン会長は20日、2010年通期の業界生産高が前年比で実質3%増加するとの見通しを述べ、従来予想の「横ばい」から上方修正した。4・5月の生産高が15ヵ月ぶりに前年を上回ったほか、売り上げも3月から拡大が続くなど需要が急速に回復しているため。

景気の回復状況は分野によって大きく異なっており、金融・経済危機の影響が最も早く現れた紡績機械は回復が顕著な一方、化学業界向けなどのプロセス機械は低迷している。各分野の通期成長率はマイナス30%からプラス30%までと幅広い。

1～5月の累計受注高は前年同期比で25%増と大きく拡大した。比較対象の09年1～5月は受注が極めて低調だったため、回復幅もその分、大きくなった格好。ヴィッテンシュタイン会長によると、受注は昨年夏から下げ止まり始めたため、今年下半期の成長率は上半期に比べ鈍化する見通しという。

（Handelsblatt 2010年7月20日付）

◆英国：6月の工作機械受注、好調

英国製造業技術工業協会（MTA）によると、6月の工作機械受注は65%増加した。

今年第1四半期に心強い実績を挙げた後、欧州に政治と経済不安が広がったこともあり、受注は4月と5月に減速していた。

6月の受注増加は、6月7～11日に開催された隔年展示会のMACH2010における受注が寄与したものと思われるが、MACHに出展していないメーカーも受注増を報告している。

ビジネスが不透明さから上向きに好転している模様で、信頼感と引き合いの水準も上昇している。

MTAのGraham Dewhurst事務局長は、「受注増加は製造業にとって良いニュースである。多くのメーカーはMACHにおける高水準の引き合いと受注を報告している。こうした報告と速報値は英国の

製造業の回復が確実になることを示唆している」と述べている。

（MTAプレスリリース 2010年7月28日付）

◆イタリア工作機械生産が増加見通し

イタリア工作機械協会（UCIMU）はこのほど、2010年通期の業績見通を発表した。通期の生産高は前年比6.2%増の43億4,500ユーロになる見込み。国内外とも企業による設備投資需要が回復傾向にあるためで、国外は前年比6.1%増の26億8,000万ユーロ、国内は同6.3%増の16億6,500万ユーロにそれぞれ拡大する見通し。

同国の工作機械業界は昨年、世界同時不況のあおりを受け、生産高が前年比で30%減少（40億9,300万ユーロ）する大打撃をこうむった。今年に入り、受注は増加に転じているものの、景気の先行きが不透明なことから、「突然停滞する恐れもある」（UCIMUのロスマ会長）状況だ。国内メーカーの大半は、生産体制の見直しや国際化など戦略的な転換を迫られており、今後は国外企業との合併事業の立ち上げや提携・合併が加速する可能性が高いという。

（MaschinenMarkt 2010年7月9日付）

3. 工作機械関連企業動向

◆スイスのジョージ・フィッシャー、黒字転換

スイスの自動車部品・機械大手ジョージ・フィッシャー（GF）が19日発表した2010年1～6月期（上半期）決算の営業利益（EBITベース）は7,300万スイスフランで、前年同期の1億2,200万フランの赤字から黒字に転換した。景気回復に伴いアジアを中心に受注が上向いたことに加え、業績悪化を受けたコスト削減対策が奏功した。また、前年同期のような特別損失がなかったことも反映された。売上高は17%増の16億9,100万フラン、受注高は35%増の18億4,400万フラン、受注残高は27%増の5億5,600ユーロにそれぞれ改善した。

部門別では、全部門で増収を達成。GFパイピングシステム（水道・ガス管などの配管材）が10%増の5億8,400万フラン、GFオートモーティブ（自動車部品）は25%増の7億8,100万フラン、GFアジェシャルミー（工作機械）が11%増の3億2,600万フランに増加した。

同社は、下半期も上半期と同じペースで回復が続くとの見通しを示している。

（Georg Fischer 2010年7月17日付）

◆ブラジル：Romi社の2010年第2四半期の新規受注が前年比大幅増加

昨年9月から実施されたブラジル国立経済社会開発銀行（BNDES）による固定資本投資向け貸出金利の引き下げ（本年12月まで延長）、企業マインドの改善、在庫投資の拡大が寄与して、ブラジル経済は2009年下期から徐々に回復に向かっているが、景気の好転を反映して国内工作機械・プラスチック加工機械メーカーの最大手である Industrias Romi S.A. 社の2010年第2四半期業績も前年同期比および前期比で改善が目立っている。

本年第2四半期の新規受注は前年同期比81.3%増の2億803万リアル、うち工作機械は同79.5%増の1億3,278万リアルだった。本年第2四半期の工作機械受注は、前期比で41.1%増と着実に増加している。

本年第2四半期純営業収入は前年同期比61.1%増の1億6,763万リアル、うち工作機械事業収入は同48.7%増の9,608万リアルだった。純営業収入に占める輸出の比率は、本年第2四半期が9%、前年同期が13.2%だった。主力輸出市場は欧州、米国、中南米である。

なおこのところ、CNC旋盤、マシニングセンタ、大型の縦型・横型旋盤に加えて、低価格の在来型旋盤、小型CNC旋盤の出荷台数が増加している。

なお、Romi社連結純利益は2010年第2四半期が1,520万リアルで前年同期の50万リアルと比べて大幅増益となった。

（Romi社プレスリリース 2010年7月27日付）

◆英国：600 Group、2010年度の決算を発表

英国工作機械メーカーのThe 600 Group PLCは2010年度（2010年4月3日に至る53週の期間）の決算を発表した。

売上高は2010年度が4,538万ポンドで、2009年度（2009年3月28日に至る52週の期間）の7,621万ポンド比40%減の大幅減収となった。低収益部門からの撤退が売上げ減少の主因である。

総売上高に占める600 Group主要4事業部門の比率は、工作機械41%、精密加工部品26%、レーザーマキニング15%、荷役機械&廃棄物処理18%となっている。

営業損失は2009年度の828万ポンドから2010年度には677万ポンドの赤字に縮小した。

600 GroupのDavid Norman CEOによれば、同グループの再建計画はほぼ完了したので、2011年度には伝統的市場である欧州を中心に主要4事業部門の展開を図り、また、アジアの外注先との関係も従来通り維持して行く予定だ。

なお、2011年度第1四半期の受注高は前年同期比31%増、2010年度期末の受注残高も前年比16%増と好調だ。

ところでOxford Economics Groupは2011年には工作機械需要が本格的に上向くと予測している。

（600 Group プレスリリース 2010年8月3日付）

◆スイス：Mikron社、2010年上期の決算を発表

企業再建計画の成果と顧客の景気信頼感の改善を反映して、Mikron Groupの2010年上期受注高は前年上期実績を82.2%上回る1億1,020万スイスフランとなった。

本年上期受注高は、精密機械加工用途向けの機械、切削工具を製造する「機械部門」が前年同期比137.3%増の5,800万フラン、「オートメーション部門」が同46.5%増の5,280万フランだった。

売上高は2010年上期が前年同期比5.7%増の

8,100万フラン、内訳は「機械部門」が前年同期比43.1%増の4,700万フラン、「オートメーション部門」は21.1%減の3,450万フランだった。

タイムラグがあるので本年上期の受注増は、本年下期の売上高増に寄与することになる。「機械部門」の主要顧客業種は自動車部品産業と筆記具産業、主要市場はドイツなど欧州諸国、それに台頭著しいアジア諸国である。

「オートメーション部門」の主要顧客業種は医薬品・医療機器産業、主要市場は西ヨーロッパ、米国、アジア諸国となっている。

収益面では、2009年上期の純損失1,830万フランが2010年上期には250万フランの赤字にまで縮小した。

(Mikron社プレスリリース 2010年8月4日付)

4. その他

◆ユーザー関連トピックス

中国：フォックスコン、河南に進出ー内陸部開拓へ

EMS（電子製品の製造受託サービス）大手、台湾・鴻海精密工業の中国子会社である富士康科技集団（フォックスコン）の河南・鄭州工場が2日に操業を開始した。同社の中国内陸部への工場移転計画の実質的な進展となる。フォックスコンの副総経理で、新工場「富泰華精密電子（鄭州）公司」の代表の林政輝氏によると、薄利の労働密集型製造業から付加価値が高いハイエンド製造業へとシフトする考え。同社は鄭州に複数の工場を置く予定で、近く新たな工場の建設に着工する。2011年末までには20万人近くの従業員は鄭州に送り込む計画である。

(新華社新華網ニュース 8月3日付)

中国：三一重工、建設機械の販売好調

建設機械メーカーの三一重工は今年第1四半期から、販売の好調が続いている。販売数は過去最高水準で、上半期には一部製品が昨年通年の販売

数を超えた。中小規模の都市でコンクリートの現場での混合が禁じられたことを受け、ミキサー車がよく売れている。今年上半年にはミキサー車の売上高が昨年通年の114億元を超えた。このほか、クレーン車や掘削機、ボーリングマシンなどを含む建機も全般に好調である。一部製品では供給不足も起きている。そのため同社では、ポンプ車の月間生産数は初めて600台を超え、生産能力を倍増させた。

(新華社新華網ニュース 8月4日付)

インド：ホンダ・シエル、25億ルピーを投じて第2工場にパワートレイン生産設備を建設

本田技研工業のインド四輪法人、ホンダ・シエル・カーズ・インディア（HSCI）は7月27日、25億ルピーを投じて、ラジャスタン州アルワル県タプカラにある第2工場にパワートレイン生産設備を建設すると発表した。建設は年内にも完成予定。HSCIは今回の発表の中で、第2工場でのパワートレイン生産設備の建設は、「将来必要となる完成車の生産能力増強に備えた措置」と説明しているが、これは同工場での新興国向け小型車の生産開始を指している模様。本田技研は、今年1月のオートエキスポで、新興国向け小型車のコンセプトモデル「Honda New Small Concept」を披露。価格は50万ルピー以下に抑え、2011年までに発売するとしている。第2工場で生産されるシリンダーヘッド、シリンダーブロックといったパワートレイン部品は、新開発小型車のほか、既存車種にも搭載される予定。同社は将来的にインドを基幹部品の生産基地として活用したい考えである。

(インドビジネスセンター 7月28日付)

インド：バーラト重電機、ジャルカンド州で火力発電設備を受注

国営バーラト重電機（BHEL）は8月9日、ジャルカンド州の州都ラーンチに27万キロワット級火力発電設備全4基を納入する契約をアブヒジート・

インフラ（本社ローンチ）から受注したと発表した。アブヒジート・インフラは発電や道路、鉄鋼などの事業を手がける民間企業。受注総額は252億5,000万ルピーに上る見込み。契約の対象は、ボイラー、蒸気タービン、タービン発電機ならびにその他の付帯設備の機器・設備の設計、エンジニアリング、製造、供給、設置、試験から試運転までとなっている。（インドビジネスセンター 8月10日付）

独ベアリング大手のシェフラー、アジアに3億ユーロ投資

ベアリング大手の独Schaeffler（ヘアツォーゲンアウラハ）は19日、今後数年間でアジアに約3億ユーロを投資すると発表した。現地需要の急速な拡大と顧客ニーズに対応するのが狙いで、生産能力と研究開発拠点を強化。グループ売上に占めるアジアの割合を2012年までに現在の22%から25%超へと引き上げる。

投資資金は中国、インド、韓国、ベトナムにある計11工場の拡張のほか、中国とインドに新設する3工場に投じる。中国の新工場は2つで、1つはベアリング、もう1つはエンジン・駆動装置部品を生産する。新工場の建設は2012年の終了を見込む。

開発拠点は規模の大きい中国、韓国のほか、インドと日本でも拡張を行う。同社は自動車部品大手Continentalを買収したことで巨額の債務を背負ったが、投資資金はすべて手持ちのキャッシュフローから捻出するとしている。

（Schaeffler 2010年7月19日付）

米GE、ワルシャワの開発センターを拡張

米ゼネラル・エレクトリック（GE）はワルシャワのエンジニアリング・デザイン・センター（EDC）を拡張し、エンジニア100人を新たに雇用する計画だ。同センターの従業員数は1,000人に拡大することになる。今月で10周年を迎えたワルシャワのEDCは航空機エンジンと部品の開発を手掛けており、ボーイングの次世代旅客機「787（ドリームラ

イナー）」のエンジン開発にも大きく貢献した。GEは今後、航空機分野の受注増加を見込んでおり、今回の施設拡張を計画したという。

GEはポーランドで、EDCのほか、銀行部門のGE Money、モニタリングシステム開発のエンジニアセンター、オートメーション機器工場の3つを運営しており、1992年～2007年に約4億ドルをポーランドに投資した。

（独紙nfa-Nachrichten fuer Aussenhandelの新聞報道のみ、独語）

（nfa-Nachrichten fuer Aussenhandel 2010年7月8日付）

「レーザ加工見本市LASYS 2010」が閉幕

ドイツ・シュツットガルトで8日から開催されていたレーザ材料加工システムソリューションの国際専門見本市「LASYS 2010」が10日、閉幕した。国内メーカーを中心に186社が参加、そのうち約4割が国外メーカーだった。来場者数は前回（2008年）を426人上回る3,870人。国外からの来場者は全体の30%を占め、前回から4ポイント増加した。国籍別ではスイス、フランス、イタリアの順となった。主催者団体は「世界的な不況が続く中、前回とほぼ同規模の参加企業数と来場者数を確保できたことは喜ばしい」として、同見本市が成功裏に閉幕したと評価した。

（MaschinenMarkt 2010年7月15日付）

ドイツ船舶部品業界で危機続く、風力発電部品など新事業開拓の動きも

ドイツで船舶部品業界の業績回復が遅れている。造船業界はすでにゆるやかな回復基調にあるものの、部品の受注から納入までに約1年を要するため、昨年の造船不振が周期遅れで部品メーカーに到達した格好だ。

ドイツ機械工業連盟（VDMA）によると、昨年の船舶部品業界の新規受注は前年から29%減少。今年も同程度の縮小率が予想されている。売上高は

7.7%減の119億ユーロとなった昨年からさらに落ち込み、2005、06年の水準（約100億ユーロ）へと後退する見通しだ。就労者7万2,000人のうち2,000～4,000人が整理される恐れがある。本格的な景気回復は2012年末以降になるという。

同業界の昨年の輸出比率は75%。輸出の36%がアジア向けで、中国が20%、韓国が12%とその大半を占めた。このため、メーカー各社はアジアの造船業界の景気回復に伴う受注拡大に期待している。また、海上の油田・ガス田開発向けや風力発電向けの部品など、新規事業の開拓も進めていく方針だ。

(VDMA 2010年7月7日付)

ルーマニアメーカー、エアバス部品の製造ラインユニットを受注

ルーマニアの車両・機械メーカー Faur Bucuresti が仏航空機部品メーカー Groupe Latecoere から、製造ライン用部品を受注した。契約額は60万ユーロに上るもようだ。納入するのは、エアバス A380 型機の部品を作るためのシステムで、今回が2回目の受注となる。前回の契約規模は50万ユーロだった。

Faur は2008年以降、経済危機の影響が少ない市場に力を入れている。エジプトの機関車製造メーカーや、チャド、セネガルの製糖工場と、すでに取引を開始しているという。

(独VWD通信 OstWirtschaftsReport の報道、リンクなし、独語のみ)

(OstWirtschaftsReport 2010年7月20日付)

伊マニエッティ、ポーランド生産を拡大

伊自動車部品メーカーのマニエッティ・マレリ

はこのほど、カトビツェ特別経済区のビエルスコ・ビャーワ地区にあるサスペンション・システムの工場に9,000万ズロチ（2,200万ユーロ）を投資して生産ラインを増設すると発表した。生産ラインの増設に伴い、従業員を700人から710人に増員する。

カトビツェ特別経済区では今年、米ガーディアン・オートモーティブや米リア・コーポレーション、伊ブレンボなどの自動車部品メーカーが生産能力を拡大するため投資計画を発表している。伊フィアットの子会社フィアット・パワートレイン・テクノロジーは、先月半ばにビエルスコ・ビャーワ工場でフィアットやゼネラル・モーターズ、フォードの小型車に搭載する新型エンジンの生産ラインの稼働を開始した。フル稼働時で年間45万基を生産する。

(Dow Jones, AutomotiveWorld.com 2010年7月14日付)

ハンガリーの商用車・部品大手ラーバ、車軸の生産能力拡大へ

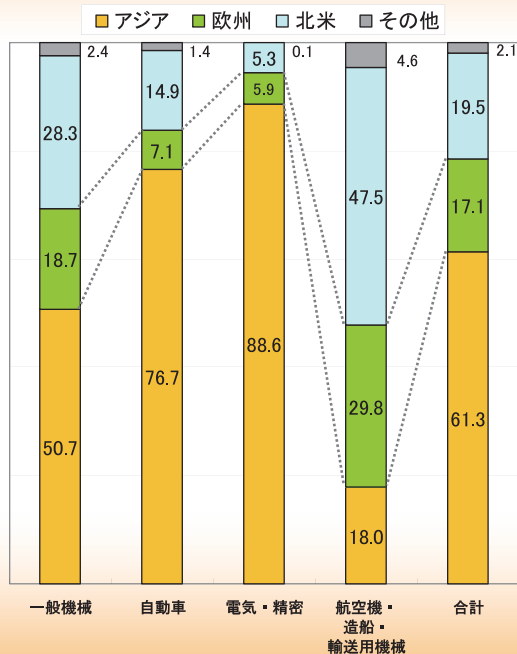
ハンガリーの商用車・部品メーカー、ラーバは12日、車軸の生産能力拡大を目指すイノベーションプログラムを始動させたと発表した。欧州連合(EU)の支援を受け、研究開発センターを設立。今後3年間で150万ユーロを投じ、2015年までに車軸の生産能力を09年比で倍増させる。ラーバは主にEU、米国、独立国家共同体(CIS)に製品を輸出している。1～3月期は売上高が前年同期比18.4%減の79億8,000万フォリントに後退したものの、純利益は3億9,900万フォリントと、前年同期の103億フォリントの赤字から黒字に復帰した。

(Prague Daily Monitor 2010年7月19日付)

5. 日工会外需状況(7月)

7月分の外需

業種別に見た主要3極の構成比



出所: 日本工作機械工業会

○一般機械は、アジアが約半分を占め、次いで北米、欧州の順となっている。

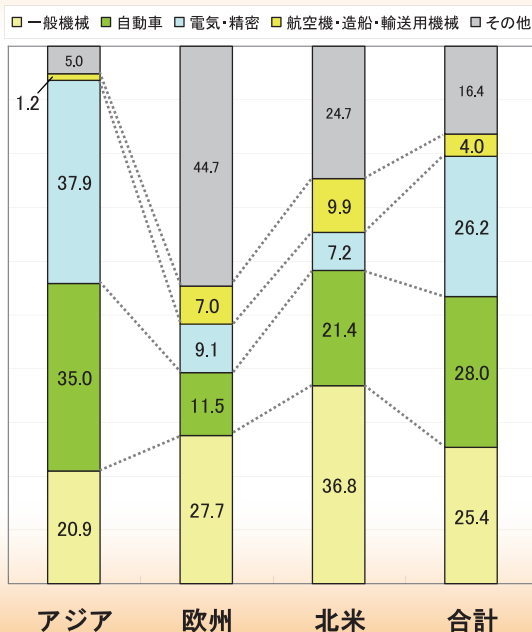
○自動車は、アジアが8割弱を占め、依然高い水準を維持している。一方、欧州は1割に満たないレベルで依然厳しい状況が続いている。

○電気・精密でも、アジアが9割弱を占め、電子部品やIT関連、家電等で中国を中心に盛んな需要が引き続き見られている。

○航空機・造船・輸送用機械は北米が5割弱、欧州で3割弱と、欧米で8割強を占めている。

7月分の外需

主要3極別に見た業種別構成比



出所: 日本工作機械工業会

○アジアでは、電気・精密、自動車が全体の7割強を占め、引き続き旺盛な需要が見られている。

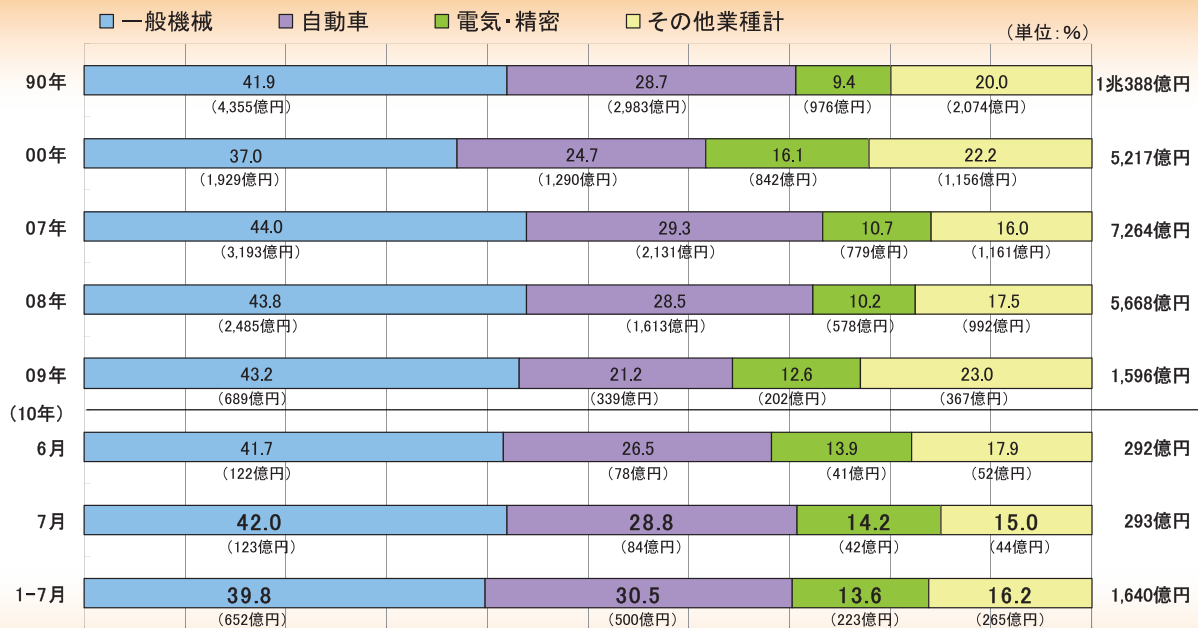
○欧州は、一般機械が最も高いウェイトを占め、自動車、電気・精密が10%前後の割合となった。

○北米は、一般機械が最も高く、次いで自動車が高いウェイトを占めた。また、航空機・造船・輸送用機械が10%弱を占めている。

ウズAMT専務理事コメント(6月分)

通常、IMTSが行われる年には9月に向けて受注は減少していくが、今半期は航空宇宙や建設機械の受注が倍増し、海外の直接投資も増加したことなどから、増加を示した。

受注内需 主要業種構成比の推移

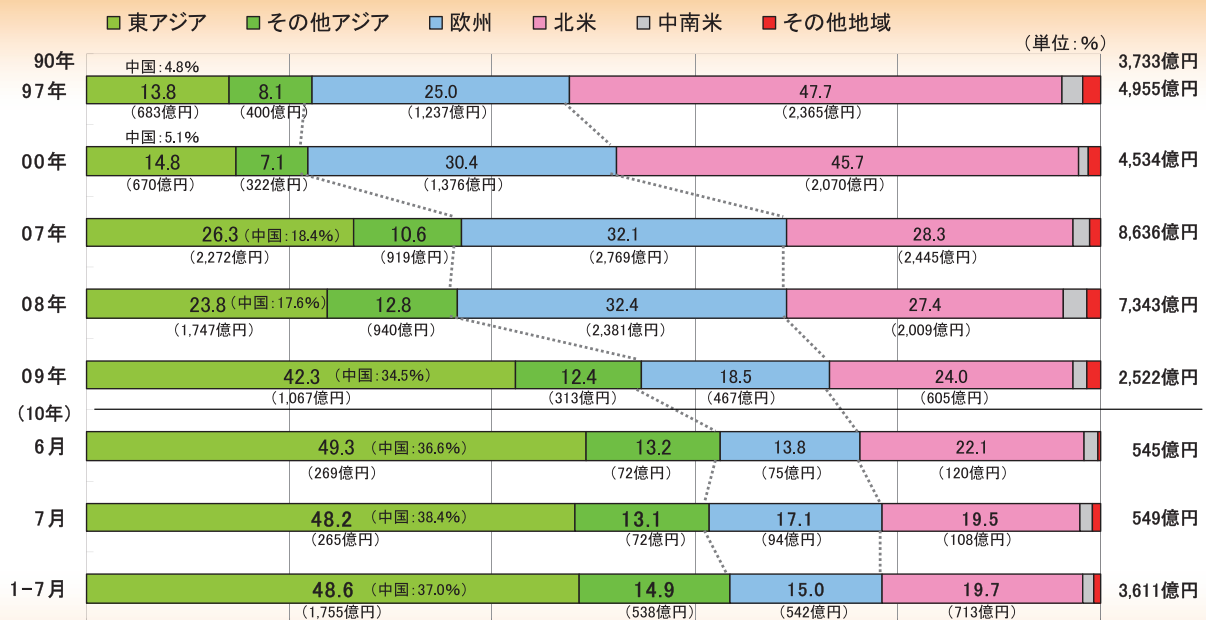


出所: 日本工作機械工業会

7月は、主要業種すべてで割合が増加を示した。

1-7月累計を09年と比較すると、自動車の割合が高くなっており、3割を超えた。

受注外需 地域別構成比の推移



出所: 日本工作機械工業会

7月は、6月に比べ、欧州のみが増加を示している。

1-7月累計を09年と比較すると、アジアの割合が09年よりも拡大し、63.5%を占めている。